

# 完了後の評価個表

整理番号	森3-1
------	------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	福島県
地区名	いわき市	事業実施主体	いわき市、森林所有者等
関係市町村	いわき市	管理主体	いわき市、森林所有者等
事業実施期間	H15～H19（5年間）	完了後経過年数	6年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 いわき市は、福島県の東南端に位置しており、東は太平洋に面しているため、寒暖の差が比較的少なく、気候に恵まれた地域で、総土地面積の約72%が森林であり、森林のうち人工林の割合が高く林業が盛んな地域である。</p> <p>② 森林の現況 本市の総面積は123,135haでそのうち森林面積は89,057haであり、森林面積の内訳としては、国有林面積が30,716ha、民有林面積が58,341haと人工林率も約60%と高く、豊かな森林資源を持つ県内でも有数の林業地帯となっている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意識 当地区で林道整備する目的としては、循環利用が期待されている人工林の約60%がⅦ～Ⅹ齢級と育成途上にあり、林業労働力の減少、高齢化、私有林では、零細・分散的な所有構造を反映して少量、分散、間断的な材の生産が主体となっているため、今後の保育、育成を適正に実施し、健全な森林の維持を推進するため、林道整備したものである。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽 114.3ha、下刈 1,347.3ha、除間伐・ぬき伐り 2,448.0ha、枝打 416.1ha、受光伐等 45.8ha、不用萌芽除去 28.9ha</p> <p>林道整備</p> <table border="1"> <tr> <td>① 曲ブナ線</td> <td>車道幅員 2.6m</td> <td>施工延長(改良)</td> <td>508m</td> <td>利用区域面積</td> <td>359ha</td> </tr> <tr> <td>② 狐平滝ノ上線</td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>施工延長(開設)</td> <td>416m</td> <td>利用区域面積</td> <td>59ha</td> </tr> <tr> <td>③ 西山下中根線</td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>施工延長(開設)</td> <td>767m</td> <td>利用区域面積</td> <td>51ha</td> </tr> <tr> <td>④ 三滝堂線</td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>施工延長(開設)</td> <td>968m</td> <td>利用区域面積</td> <td>123ha</td> </tr> <tr> <td>⑤ 清道石畑線</td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>施工延長(開設)</td> <td>1,686m</td> <td>利用区域面積</td> <td>101ha</td> </tr> <tr> <td>⑥ 鮫川線</td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>施工延長(改良)</td> <td>98m</td> <td>利用区域面積</td> <td>136ha</td> </tr> </table> <p>総事業費 1,364,710千円 (当初総事業費 1,830,615千円)</p>	① 曲ブナ線	車道幅員 2.6m	施工延長(改良)	508m	利用区域面積	359ha	② 狐平滝ノ上線	車道幅員 3.0m	施工延長(開設)	416m	利用区域面積	59ha	③ 西山下中根線	車道幅員 3.0m	施工延長(開設)	767m	利用区域面積	51ha	④ 三滝堂線	車道幅員 3.0m	施工延長(開設)	968m	利用区域面積	123ha	⑤ 清道石畑線	車道幅員 3.0m	施工延長(開設)	1,686m	利用区域面積	101ha	⑥ 鮫川線	車道幅員 3.0m	施工延長(改良)	98m	利用区域面積	136ha
① 曲ブナ線	車道幅員 2.6m	施工延長(改良)	508m	利用区域面積	359ha																																
② 狐平滝ノ上線	車道幅員 3.0m	施工延長(開設)	416m	利用区域面積	59ha																																
③ 西山下中根線	車道幅員 3.0m	施工延長(開設)	767m	利用区域面積	51ha																																
④ 三滝堂線	車道幅員 3.0m	施工延長(開設)	968m	利用区域面積	123ha																																
⑤ 清道石畑線	車道幅員 3.0m	施工延長(開設)	1,686m	利用区域面積	101ha																																
⑥ 鮫川線	車道幅員 3.0m	施工延長(改良)	98m	利用区域面積	136ha																																

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成26年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 コスト縮減に努めた結果、総事業費が減少した。</p> <table border="1"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>25,693,573千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>26,096,445千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>5,179,687千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>6,983,701千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>4.96</td> <td>(事業採択時</td> <td>3.74)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	25,693,573千円	(事業採択時	26,096,445千円)	総費用 (C)	5,179,687千円	(事業採択時	6,983,701千円)	分析結果 (B/C)	4.96	(事業採択時	3.74)
総便益 (B)	25,693,573千円	(事業採択時	26,096,445千円)										
総費用 (C)	5,179,687千円	(事業採択時	6,983,701千円)										
分析結果 (B/C)	4.96	(事業採択時	3.74)										

② 事業効果の発現状況	<p>① 林道開設により、3,837mが整備され、利用区域内森林中間部までアクセスが歩行のみだったことに対して自動車での到達が可能となるなど、森林へのアクセスが容易となり、利用区域内の間伐・保育作業及び適期を迎えた主伐がなされ、整備前より森林施業が活性化された。</p> <p>② 林道改良により、林道が舗装や落石防止網設置工により安全性が確保されたことから、利便性・快適性の向上により、森林施業の実施率が向上した。</p> <p>③ 本事業で植栽されたクヌギや樹下植栽されたコナラの成長は良好で、間伐等を行った箇所とともに多様な環境を持つ健全な広葉樹林として育成されており、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮が期待される森林が整備された。</p>
-------------	--

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により開設された林道は、いわき市が維持管理規程に基づいて管理されている。</p> <p>また、集中豪雨の後などは、路線パトロールを行い危険個所の確認を実施している。さらに、地元による年2～3回の草刈りが行われており、維持管理状況はおおむね良好である。当事業で整備された森林は、下刈り等を定期的に実施するなど整備後の林況や施設の維持管理は良好である。</p>
---------------------	--

<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林所有者等による伐採や植栽、除間伐等の実施面積が平成14年度の684haに対し、平成20年度では730haと46ha増加するなど、森林施業の実施に対する意欲が向上している。森林整備が実施され林内の明るい単層林や複層林が整備され、森林の景観が向上している。</p> <p>林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p> <p>雨水等による路面の浸食が防止されたことで、道路沿線の農地や林地へ碎石等の流出がなくなり、自然環境の保全が図られている。車輛の通行においても、舗装が施されたことにより路面洗掘が解消され、通行の安全が確保されている。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>間伐材等の運送が安全かつ効率的に行われるようになり、林業労働の軽減や運材コストの低減による林業生産性の改善が図られつつある。</p> <p>本事業で開設した林道を通じて、山菜採取やハイキング等に森林を利用する地元住民が増加しており、森林に対する理解が深まりつつある。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>市内の林道沿線や森林内へのゴミの不法投棄が数件見つかっていることから、今後は事業整備地区についても防止策を講じる必要がある。</p> <p>また、近年林道においても、一般車輛の通行が増加していることから、通行の安全が確保できるような取り組みが必要である。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 効率的な森林施業や木材生産等の実施を図るため、林道の安全かつ円滑な通行を確保する整備が求められているところであり、必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 森林整備・林道の計画に当たっては、現地に応じた適切な工種、工法が選定されており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 林道整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の実現が見込まれ、維持管理費の大幅な軽減が図られるとともに、森林施業の推進状況、地域住民による利用状況からみても有効性が認められる。</li> </ul>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

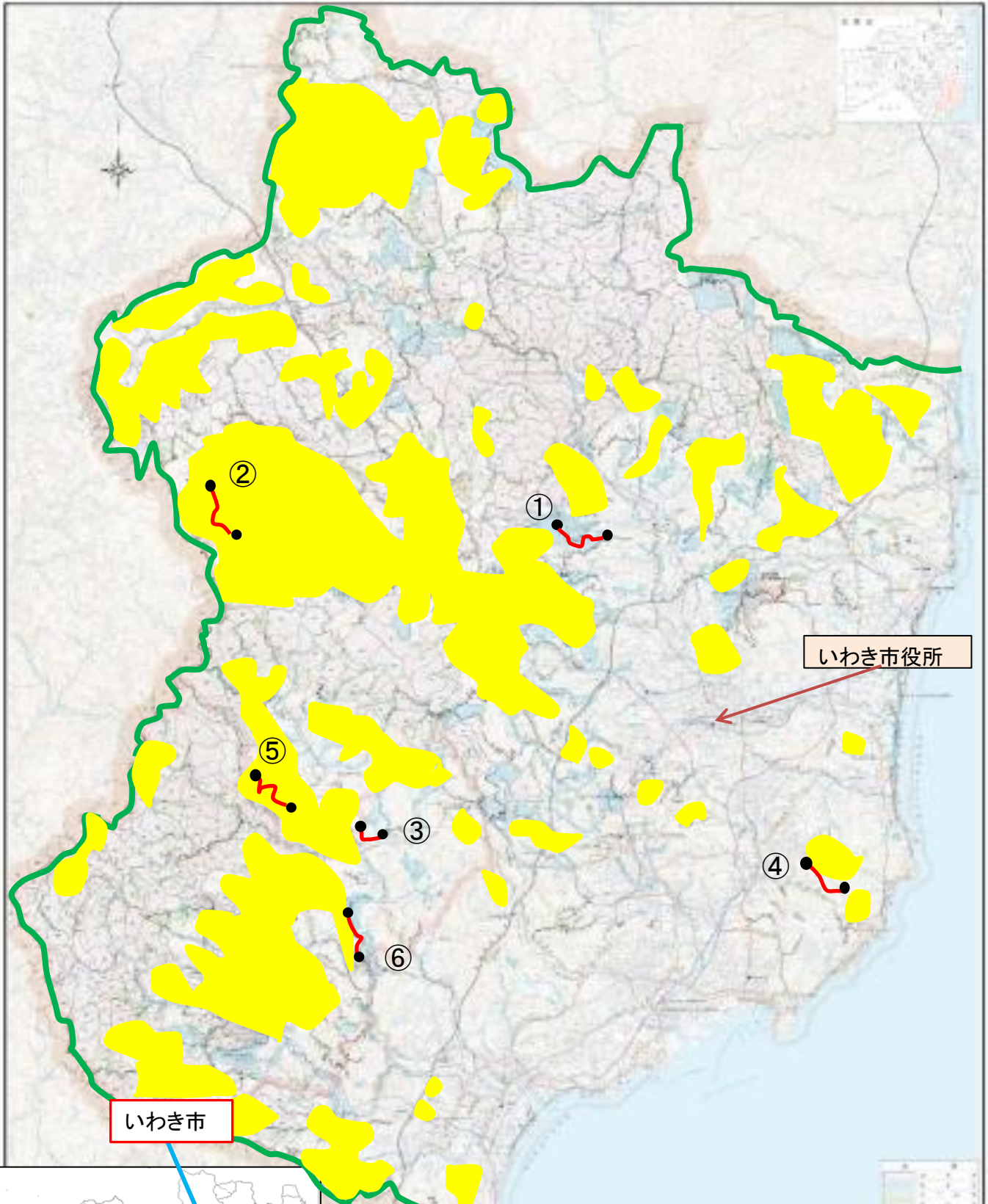
都道府県名:福島県

地域(地区)名:いわき市

(単位:千円)

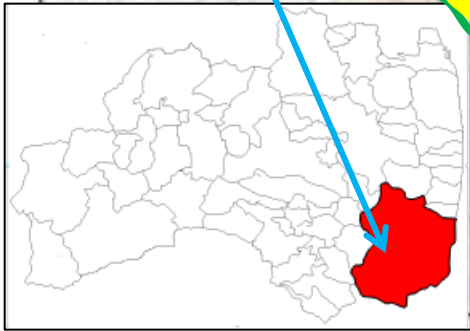
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,854,234	
	流域貯水便益	867,447	
	水質浄化便益	1,807,931	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,249,177	
	土砂崩壊防止便益	254,894	
環境保全便益	炭素固定便益	9,683,104	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	5,030,188	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	7,239	
	森林整備促進便益	89,469	
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮等便益	529,941	
	副産物増大便益	6,845	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	75,922	
維持管理費縮減便益		174,000	
その他の便益	ボランティア誘発便益	63,182	
総 便 益 (B)		25,693,573	
総 費 用 (C)		5,179,687	
費用便益比	$B \div C = \frac{25,693,573}{5,179,687} = 4.96$		

# 森林環境保全整備事業 いわき市地区 概要図 [福島県]



いわき市

いわき市役所



凡 例	
市町村界	—
施工箇所(林道整備)	—
施工済(林道整備)	—

	森林整備
①	改良 曲ブナ線
②	森林管理道 狐平滝ノ上線
③	森林管理道 西山下中根線
④	森林管理道 三滝堂線
⑤	森林管理道 清道石畑線
⑥	改良 鮫川線